さいたま市教員養成あすなろプロジェクト

～希望（ゆめ）のまちで夢の花を咲かせよう 「喜び」、「やりがい」とともに～

第10期

さいたま市教師塾「夢」講座



受講生を募集します

さいたま市の教員としての「やりがい」を見いだそう！

さいたま市立教育研究所

【本日の説明内容】

１　さいたま市教師塾「夢」講座とは？

２　さいたま市教師塾「夢」講座【第10期】受講生の募集について

３　Ｑ＆Ａ

４　諸連絡

※4の終了後に個別相談を受付けます。

１　さいたま市教師塾「夢」講座とは？

1　さいたま市教師塾「夢」講座とは

さいたま市教員養成あすなろプロジェクト

～希望のまちで夢の花を咲かせよう　「喜び」、「やりがい」とともに～

教員としての学びのスタートが切れません！

①さいたま市の特色ある教育活動を体験できません。
②子どもの姿を間近に感じられません。
③教員や仲間とのつながりを広げません。

大学１年生から、さいたま市の教育活動に参加・体験してもらい、魅力あふれる充実した教育環境等を知ることで、さいたま市の教員としての「喜び」「やりがい」「働きやすさ」を知り、さいたま市の教員として安心して、意欲に燃えたスタートができるようにします。

教職を目指す若い人たちの夢

ベテラン教員の誇りと技を若い世代へ引き継ぐという夢

夢

子どもたちの未来の夢を実現させることができる教員を養成する

大学１年生 → 大学２年生 → 大学３年生 → 大学４年生 → 教　員

大学生のための教育体験活動

事前登録制

子どもとの関わり方を学んだり、人とのつながりを広げたりするさいたま市の事業に参加します。

＜活動しよう＞

- アシスタントティーチャー（大学２年生以上）
- チャレンジスクールボランティア
- 部活動サポーター

など

入塾選考

さいたま市教師塾「夢」講座

対象：入塾選考合格者

さいたま市の学校教育についての理解を深める講座及び教育体験活動を実施します。

必修講座全１５回

原則として土曜日　午前10時～午前12時

- さいたま市の目指す学び
- 「夢」講座の先輩に学ぼう
- みんなで考えよう～教材研究・模擬授業～
- 市立小・中学校研究発表会に参加しよう
- デザイン思考体験研修に参加しよう
- 高めよう！レジリエンス！！　など

教育体験活動：アシスタントティーチャー　など

選択講座：　パワーアップ講座　など（自主参加）

さいたま市教師塾「夢」講座　第１０期
（募集・選考対象：大学２年生）
開講開始：令和8年10月　選考：令和8年12月

大学３年生 Step up選考

教員採用試験

新卒者アプローチ研修（あすなろBase）

キャリア段階に応じたさいたま市教員等資質向上指標（キャリアnavi）

充実期（１６年～）
組織運営を推進したり、同僚の模範となる実践を展開したりします。

伸長期（６年～１５年）
組織運営に参画したり、実践的な専門性を高めたりします。

基礎形成期（１年～５年）
組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付けます。

＜ともに学ぼう＞　・「教師力」パワーアップ講座（あすなろBase）　・市内研究発表　・市教育研究会一斉研修大会　など

さいたま市が求める教師像

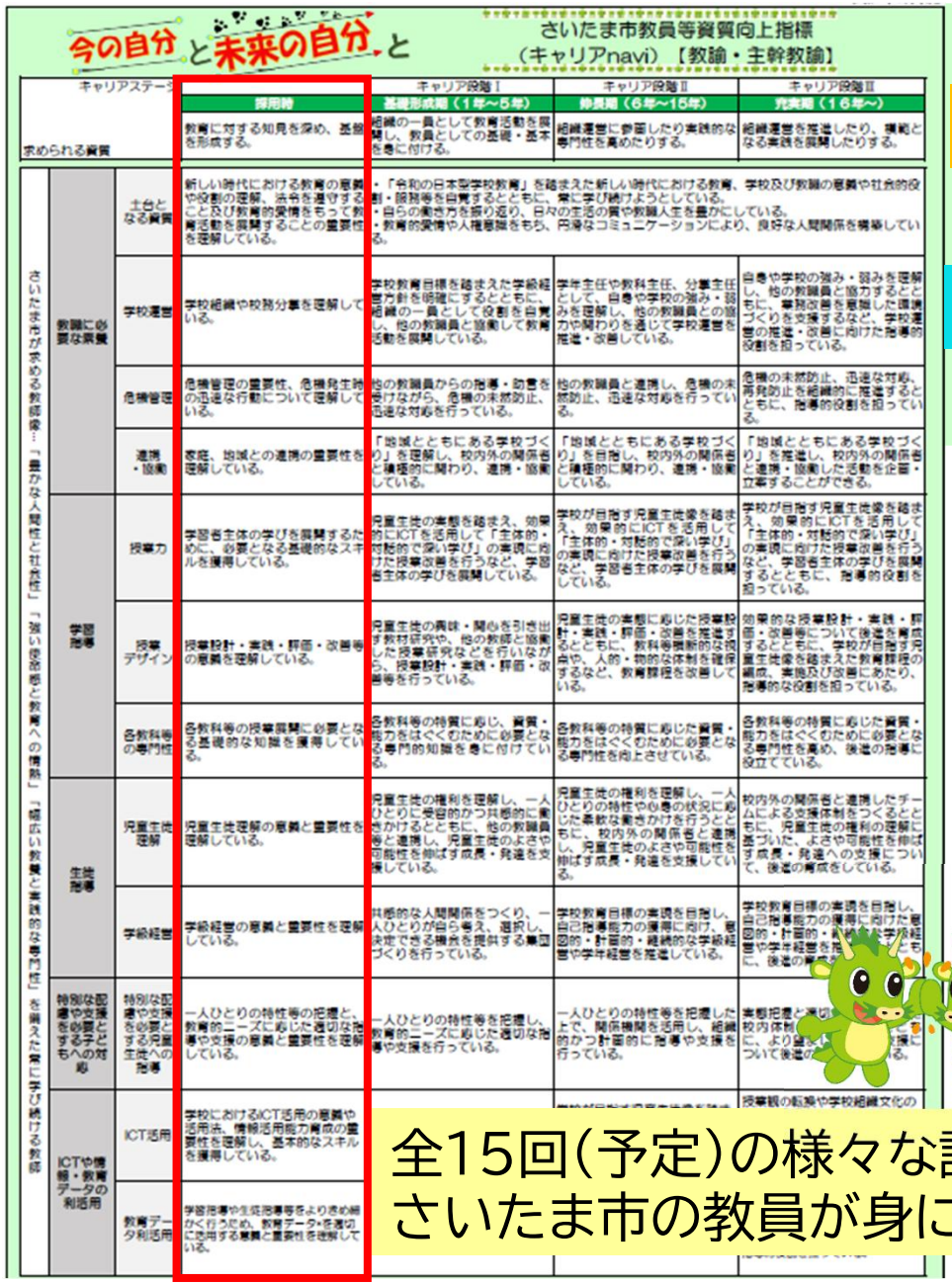
「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師

問合せ先　さいたま市立教育研究所　研修係
電　話　０４８－８３８－１８１０
メール　kenkyuio@saitama-city.ed.jp

「夢」講座の目的

　教職に就くことを強く希望する大学生が、さいたま市教育委員会指導主事による講座や学校現場での体験を通して、さいたま市教育の魅力や教師という仕事の実際を学び、さいたま市の目指す教師像に向けた成長の土台を築く。

1 さいたま市教師塾「夢」講座とは



今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標
（キャリアnavi）【教諭・主幹教諭】

キャリアステージ			採用時	キャリア段階Ⅰ 基礎形成期（1年～5年）	キャリア段階Ⅱ 伸長期（6年～15年）	キャリア段階Ⅲ 充実期（16年～）
求められる資質			教育に対する知見を深め、基盤を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。
さいたま市が求める教師像…「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教職に必要な素養	土台となる資質	新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。	・「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。 ・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 ・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。		
		学校運営	学校組織や校務分掌を理解している。	学校教育目標を踏まえた学級経営方針を明確にするとともに、組織の一員として役割を自覚し、他の教職員と協働して教育活動を展開している。	学年主任や教科主任、分掌主任として、自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通じて学校運営を推進・改善している。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、事務改善を意識した環境づくりを支援するなど、学校運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。
		危機管理	危機管理の重要性、危機発生時の迅速な行動について理解している。	他の教職員からの指導・助言を受けながら、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	他の教職員と連携し、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進するとともに、指導的役割を担っている。
		連携・協働	家庭、地域との連携の重要性を理解している。	「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働している。	「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働している。	「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。
	学習指導	授業力	学習者主体の学びを展開するために、必要となる基礎的なスキルを獲得している。	児童生徒の実態を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開している。	学校が目指す児童生徒像を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開している。	学校が目指す児童生徒像を踏まえ、効果的にICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、学習者主体の学びを展開するとともに、指導的役割を担っている。
		授業デザイン	授業設計・実践・評価・改善等の意義を理解している。	児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究や、他の教師と協働した授業研究などを行いながら、授業設計・実践・評価・改善等を行っている。	児童生徒の実態に応じた授業設計・実践・評価・改善を推進するとともに、教科等横断的な視点や、人的・物的な体制を確保するなど、教育課程を改善している。	効果的な授業設計・実践・評価・改善等について後進を育成するとともに、学校が目指す児童生徒像を踏まえた教育課程の編成、実施及び改善にあたり、指導的な役割を担っている。
		各教科等の専門性	各教科等の授業展開に必要となる基礎的な知識を獲得している。	各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門的知識を身に付けている。	各教科等の特質に応じた資質・能力をはぐくむために必要となる専門性を向上させている。	各教科等の特質に応じた資質・能力をはぐくむために必要となる専門性を高め、後進の指導に役立てている。
	生徒指導	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	校内外の関係者と連携したチームによる支援体制をつくるとともに、児童生徒の権利の理解に基づいた、よさや可能性を伸ばす成長・発達への支援について、後進の育成をしている。
		学級経営	学級経営の意義と重要性を理解している。	共感的な人間関係をつくり、一人ひとりが自ら考え、選択し、決定できる機会を提供する集団づくりを行っている。	学校教育目標の実現を目指し、自己指導能力の獲得に向け、意図的・計画的・継続的な学級経営や学年経営を推進している。	学校教育目標の実現を目指し、自己指導能力の獲得に向けた意図的・計画的・[illegible]学級経営や学年経営を推[illegible]ともに、後進の育成[illegible]
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導	一人ひとりの特性等の把握と、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の意義と重要性を理解している。	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	一人ひとりの特性等を把握した上で、関係機関を活用し、組織的かつ計画的に指導や支援を行っている。	実態把握と適切[illegible]校内体制[illegible]に、より[illegible]支援について後進の[illegible]る。
	ICTや情報・教育データの利活用	ICT活用	学校におけるICT活用の意義や活用法、情報活用能力育成の重要性を理解し、基本的なスキルを獲得している。			授業観の転換や学校組織文化の
		教育データ利活用	学習指導や生徒指導等をよりきめ細かく行うため、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。			

さいたま市が目指す教師像

豊かな人間性と社会性

強い使命感と教育への情熱

幅広い教養と実践的な専門性

を備えた常に学び続ける教師



- 土台となる資質
- 授業デザイン
- 児童生徒理解
- 学校運営
- 授業力
- 特別支援教育
- 教育データ利活用
- 学級経営
- 連携協働
- ICT活用
- 各教科の専門性
- 危機管理



全15回（予定）の様々な講座や教育体験活動を通して、
さいたま市の教員が身に付けるべき、資質の土台を築きます。

実際の「夢」講座の様子

開講式



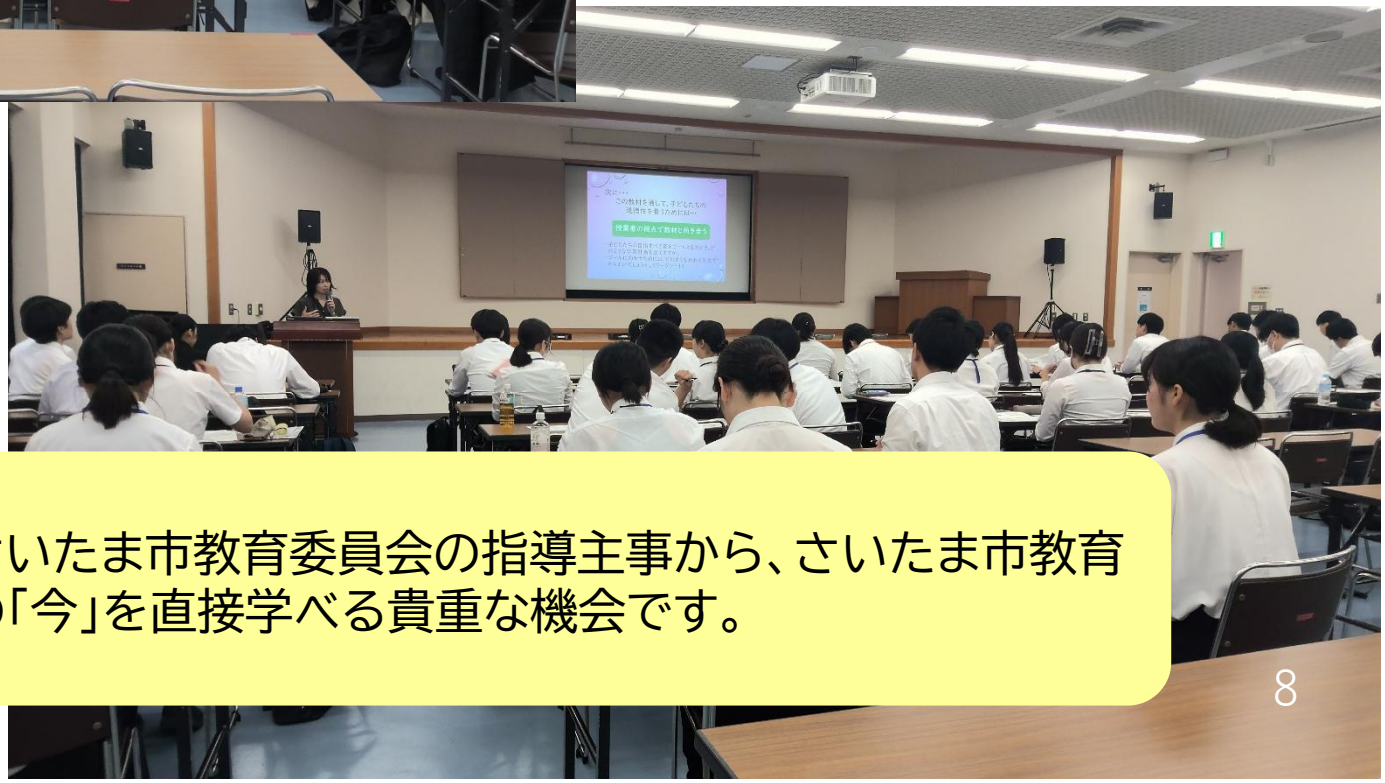
竹居　秀子　教育長も出席し、激励の言葉をかけられました！

1　さいたま市教師塾「夢」講座とは



実際の「夢」講座の様子

各種講座





さいたま市教育委員会の指導主事から、さいたま市教育の「今」を直接学べる貴重な機会です。

1　さいたま市教師塾「夢」講座とは





実際の「夢」講座の様子



みんなで考えよう
～教材研究・模擬授業～

仲間とよりよい指導案を考え、実践！
終わった後も、率直に意見交換をし、互いに高め合います。

1　さいたま市教師塾「夢」講座とは



実際の「夢」講座の様子



「夢」講座の先輩と語ろう

実際に学校現場で働いている、「夢」講座の先輩から教員として働く「生」の声を聞きます。

1　さいたま市教師塾「夢」講座とは



現職の教職員が参加する研修に参加をして、授業づくりの実際を参観したり、現職の先生方と協議をしたりすることができます。



市立小・中学校
研究発表会参加





受講生の感想より

「夢」講座を受講して、教員の仕事のやりがいや満足感について考えることができ、やはり教員になりたい、という思いが強くなりました。

さいたま市の教育内容や生徒指導について学ぶことができました。また、「夢」講座生とのディスカッションを通して、教育への理解を深めることができました。

「夢」講座での模擬授業では、思わぬ意見が出るなど、練習どおりにはいかず、みんなで協議しながら、授業を作ることの大切さを改めて実感しました。

教育体験活動では、現場の先生の日常の細かい指導や配慮を知ることができました。子どもに上手く対応できなくて、悩んだこともありましたが、仲間と気付きを話し合うことで、「悩んでいるのは自分だけではない」ということが分かり、心強く感じました。

「夢」講座の先輩方の話を聞くことで、自分が教員になったことを思い浮かべることができ、教員になりたいという気持ちを高めることができました。まずは、教員採用試験に向けてがんばっていきたいです。

２　さいたま市教師塾「夢」講座
【第10期】受講生の募集について

対象者・募集人数

さいたま市立学校教員を強く志望する大学2年生35名程度（予定）

＜受講できるのは、以下の全てに該当する方です＞

①大学に在学中で、「令和11年度採用さいたま市立学校教員採用選考試験」を受験する方（養護教諭、栄養教諭を除く）

②教員免許状を取得している者又は令和11年3月末日に教員免許状取得見込みの方

③令和11年3月末日に卒業見込みの方

④実施期間を通じて、受講可能な方

⑤地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない方

2　さいたま市教師塾「夢」講座【第10期】受講生の募集について

申込期間

令和８年１０月２６日（月）～１１月１３日（金）
（電子申請または郵送）

選考試験

令和８年１２月１２日（土）



結果通知

令和９年２月１日（月）以降に、オンライン掲載及び郵送にて通知。

※詳しくは募集要項を御確認ください

選考内容

①個人面接（1人につき15分程度）
②書類選考（提出書類等による）

選考試験当日に持参するもの

①直近の成績証明書（GPAが示されているもの）
②選考結果返信用封筒（選考結果通知用）
③受験票（郵送による申込みの方）または、受験票引換証（インターネットによる申込みの方）

受講期間

令和9年2月13日（土）～令和10年1月29日（土）

2　さいたま市教師塾「夢」講座【第10期】受講生の募集について

必修講座

全15回

さいたま市の教育を実際に見たり、体験したりする機会をたくさん設ける予定です。



区分	回	日時	内容	会場
	1	令和９年　２月１３日（土） 午前１０時００分～午前１２時００分	①開講式　　②オリエンテーション	教育研究所
	2	令和９年　３月　１日（月） 午前１０時００分～午前１２時００分	さいたま市教育の魅力	教育研究所
	3	令和９年　３月１５日（月） 午前１０時００分～午前１２時００分	学級担任・教師のあり方について考えよう①	教育研究所
	4	令和９年　４月２４日（土） 午前１０時００分～午前１２時００分	さいたま市の目指す学び①	オンライン
	5	令和９年　５月１５日（土） 午前１０時００分～午前１２時００分	教材研究・模擬授業①	教育研究所
	6	令和９年６～７月頃実施予定	さいたま市の目指す学び② （研究校の授業を見学）	市内学校
		9年７月下旬～８月頃実施予定	「夢」講座の先輩に学ぼう① （「夢」講座 OB・OG の学校訪問）	市内学校
		9年　８月２８日（土） 時００分～午前１２時００分	教材研究・模擬授業②	教育研究所
		9年　９月１８日（土） 時００分～午前１２時００分	教材研究・模擬授業③	教育研究所
		9年９～１１月頃実施予定	さいたま市教育研究会一斉研修大会に参加 又は 市立学校　研究発表会等に参加	市内学校
		9年９～１１月頃実施予定	デザイン思考体験研修に参加	教育研究所
	１２	令和９年１０月２３日（土） 午前１０時００分～午前１２時００分	これからの教師に求められるレジリエンスと活用	教育研究所
	１３	令和９年１１月２７日（土） 午前９時００分～午前１２時００分	修了認定試験	教育研究所
	１４	令和１０年１月上旬頃実施予定	教育体験活動の気付きを話し合おう 学級担任・教師のあり方について考えよう② 「夢」講座の先輩に学ぼう②	教育研究所
	１５	令和１０年　１月２９日（土） 午前１０時００分～午前１２時００分	①さいたま市教師塾『夢』講座のまとめ ～教員として大切なこと～ ②閉講式	教育研究所

選択講座

各自が自主的に申し込み、参加をする講座

選択講座	①	平日の夜間	「教師力」パワーアップ講座 ・あすなろＢａｓｅへの参加	教育研究所 他
	②	2～3学期中	市立学校研究発表会への参加	実 施 校
	③	令和９年１１月中旬	さいたま市教育研究会一斉研修大会の参加	実 施 校
	④	未定	その他、 さいたま市教育委員会が主催するイベント等	各会場



大学の授業等、御自身の都合に合わせて受講が可能です。現役の先生と一緒に学べるチャンスでもあります。



教育体験活動

①アシスタント ティーチャー

【期間】
令和9年5月～
令和9年11月（予定）

【条件】
原則10日以上かつ
35時間以上の参加

令和８年度　さいたま市
アシスタントティーチャー募集要項

さいたま市教育委員会

さいたま市立小・中・中等教育・特別支援学校等において活動する、教員を志している大学生による学習支援ボランティア（アシスタントティーチャー）を募集します。本事業は、児童生徒のきめ細かな学習支援の実現と、参加する大学生の教員となるための意欲や資質を高めることを目的としています。

1 事業主体
さいたま市教育委員会

2 応募資格
次の（1）、（2）の双方を満たす方
（1）教職を目指す大学２年生・３年生・４年生及び大学院生
（2）原則１０日以上かつ３０時間以上活動でき、インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険（インターン賠償保険）に加入している学生

3 応募期間
令和８年４月～令和９年１月

4 応募方法
「応募票」をさいたま市教育委員会事務局学校教育部教育課程指導課に郵送又は持参してください。
※浦和大学、共栄大学、聖学院大学、文教大学の学生は大学の担当課に応募してください。

5 面接等
応募受付後、面接日時について電話で通知します。

6 活動場所
さいたま市立小・中・中等教育・特別支援学校等のうち、さいたま市教育委員会事務局が指定する学校

7 活動内容
ア　学習指導（各教科等の授業）の補助
イ　特別な支援を必要とする児童生徒への指導の補助
ウ　教育相談等の補助
エ　実験や実習等の補助
オ　部活動の指導の補助
カ　ICT 活用の補助
キ　その他、学習指導に係る補助等でさいたま市教育委員会事務局が必要と認めたもの
※大学２年生の場合は、原則活動内容「ア」となります。



参考
さいたま市ホームページ さいたま教育コラボレーション構想
令和8年度さいたま市アシスタントティーチャー募集要項 より

教育体験活動

②チャレンジスクールボランティア

【期間】 令和9年5月～令和9年11月（予定）

【条件】 原則3日以上の参加

	土曜チャレンジスクール	放課後チャレンジスクール
事業内容	子どもたちに学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図るため、土曜日等に子どもたちの自主的な学習や体験活動等を実施する。	子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性をはぐくむため、放課後等に子どもたちのスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を実施する。
対象者	全児童生徒（市立全小・中学校）	全児童（市立全小学校）
活動日	土曜日　月２回程度	放課後　週１回～
活動時間	９時～１２時	放課後～１７時
活動場所	教室、特別教室等	体育館、校庭、特別教室等
活動内容	自主学習、英検対策等	スポーツ、ボール遊び、レクリエーション、体験活動、工作、宿題等

参考
さいたま市ホームページ
チャレンジスクール推進事業
令和8年度チャレンジスクール
推進事業の概要について
より

応募について

１　受講料は無料とします。

２　講座修了者は、「令和11年度採用さいたま市立学校教員採用選考試験」第1次試験を免除とします。

※ただし、受講の状況等により免除に必要な認定を受けられない可能性があります。

３　申込み後の連絡は、「さいたま市教員養成あすなろプロジェクト」メールを通じて行います。登録をお願いします。

登録はこちらから→

※募集要項3ページ参照

3 Q&A

Q1

「夢」講座を受講するメリットは？

A1

最新のさいたま市の教育について講義形式で学ぶことができる他に、実際の学校現場で行われている授業づくりを見学・体験する機会もあり、理論と実践の両面から学びを深めることができます。さらに、教師を志す仲間と協議する場や現職教員とともに研修に参加できる機会も設けられており、同じ志をもつ人々とのつながりを築くことができます。

Q2

選考試験の個人面接では、どのようなことを聞かれますか？

A2

個人面接では、教職を志す強い意志をもっているか、「さいたま市が目指す教師像」に向けて成長が期待できる人間性を備えているかどうか等を評価します。

さいたま市立教育研究所のHPで過去の問題や選考の方針を掲載していますので、参考にしてください。

Ｑ３

大学３年生から「夢」講座に申し込むことはできますか。

Ａ３

選考試験を２年生で実施し、２年生から３年生にかけての連続した講座を計画しています。大学３年生から申し込むことはできません。

Ｑ４

入塾選考試験や修了認定試験の際に志願区分（校種・教科）を表明しますか。

Ａ４

第１０期の「夢」講座では、入塾選考試験や修了認定試験時に志願区分（校種・教科）を表明する必要はありません。「夢」講座の修了者は、「令和１１年度さいたま市立学校教員採用選考試験」の第1次試験免除の対象となります。

※ただし、受講の状況等により免除に必要な認定を受けられない可能性があります。

４　諸連絡

4 諸連絡　　あすなろメールに登録しよう！



あすなろメールに登録して
「さいたま市教員養成
あすなろプロジェクト」
に参加しましょう！

登録は「さいたま市立教育研究所」ホームページに掲載されているメールアドレスからしてください。



4　諸連絡　　さいたま市教員養成あすなろプロジェクトに関する情報は教育研究所HPから！



さいたま市立教育研究所ホームページ
https://www.saitama-city.ed.jp/kenshu/

4 諸連絡　教師力パワーアップ講座に参加してみよう！



「教師力」パワーアップ講座
令和８年度　10月予定表　さいたま市教育委員会　教育研究所





～教師の学びが子どもの学びにつながる～
市内教職員の皆さん、教職を目指している大学生の皆さんの自主的な研修の場です。
令和の日本型学校教育の実現を目指し、教職員の学びのアップデートをしていきましょう！



講座名	講座開催日時	会場	開催形態	活動目的・内容	講師	持ち物・費用等	担当
科学大好きプロジェクト	10月15日(木) 18:30 ～ 19:30	市立高砂小学校	対面	「理科の教材研究をデザインしませんか (5年単元「流れる水のはたらき」)」 ～昨年度の関東甲越ブロック埼玉大会の理科授業の実践を通して～	教諭：亀山 愛友 (高砂小)	担当されている学年の教科書等	さいたま市小学校理科サークル (教育研究所 押田)

<「教師力」パワーアップ講座の場合>
1 Microsoft Forms にて必要事項を入力し、送信してください。参加講座は、1講座ずつの申込みとなります。
2 複数の講座を申し込みたい場合は、再度Microsoft Formsから他の講座を選択し、必要事項を入力し、送信してください。
3 Microsoft Formsの回答は、修正可能です。申込み後の参加の取り消し、追加は、再度必要事項を入力し送信してください。（申込み後、教育研究所への欠席連絡は不要です。）
4 申込み締切日は準備等の関係で、それぞれの講座の1週間前が目安ですが、当日参加も受け付けております。
5 費用がかかる講座の場合は、当日御持参ください。
6 教職員用コンピュータの持ち出しに際しては、事前に校長の承認を得て、「情報機器校外使用管理簿」に記入する必要があります。

夜間の利用については、第1駐車場、第3駐車場での駐車が可能です。講座数が少ないときは、第1駐車場からお使いください。また、第3駐車場の利用は、20時30分までとさせていただきます。
場合によっては、講座中に移動のお声掛けをさせていただくこともあります。御了承ください。　なお、本講座への行き帰りについては、安全に十分御留意ください。

「教師力」パワーアップ講座の参加申し込みはこちら
➡https://forms.cloud.microsoft/r/W1X5rvHm3y



さいたま市教員養成 あすなろプロジェクト あすなろBase	10月15日(木) 18:30 ～ 20:00	 	教育相談・生徒指導について考えよう 【持ち物】筆記用具	・「教師力」パワーアップ講座ではありません。 ・教職を目指す大学生等の情報交換、学びの場です。 ・大学生、短期大学生、大学院生、もちろん「夢」講座の受講生以外の方も御参加いただけます。

大学生、短期大学生、大学院生の皆さんへ　　さいたま市教員養成あすなろプロジェクトさいたま市あすなろメールへの登録について
「教師力」パワーアップ講座を含む「さいたま市教員養成あすなろプロジェクト」の情報がメールで届きます。
右のQRコードから登録できます。詳しくは、教育研究所Webページ内「さいたま市教員養成あすなろプロジェクト」のページを御覧ください。

さいたま市教員養成あすなろプロジェクト
さいたま市あすなろメールの登録はこちら
➡ https://www.saitama-city.ed.jp/kenshu/asunaro.html

「教師力」パワーアップ講座の参加申し込みはこちら
➡https://forms.cloud.microsoft/r/W1X5rvHm3y

さいたま市立教育研究所ホームページより申込みができます。
https://www.saitama-city.ed.jp/kenshu/power-up.html

令和９年度採用（令和８年度実施）

さいたま市立学校教員採用選考試験実施要項

《第１次試験実施日：令和8年7月5日（日）》

さいたま市教育委員会

全ての子どもたちの学びと育ちを支える



さいたま市が求める教師像

「豊かな人間性と社会性」
「強い使命感と教育への情熱」 を備えた 常に学び続ける教師
「幅広い教養と実践的な専門性」

今年度の主な変更等	
① 教員普通免許状を未所有な方が受験可能な「小学校教員プレ・ライセンス特別選考」を新設します。	→Ｐ４参照
②「ティーチャー・リターン選考」を教員採用選考試験と同時期に実施します。	→別紙参照
③「現職高等学校教員特別選考」を休止します。	
④「英語ネイティブ特別選考」を休止します。	
⑤ 教員普通免許状を未所有な方が受験可能な「パイオニア特別選考」を継続します。	→Ｐ３参照

1　目的

さいたま市立学校教員の採用候補者を選考するために実施します。

2　選考の対象となる志願区分・教科等・採用見込数

志願区分	教　科　等	採用見込数
小学校教員	全教科	９０名程度（昨年度比１０名減）
中学校・高等学校・中等教育学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、グローバル・スタディ（英語）	９０名程度（昨年度比１０名減）
特別支援教育担当教員（小学校）	特別支援教育全般	２０名程度（昨年度と同数）
特別支援教育担当教員（中学校）	特別支援教育全般	５名程度（昨年度比３名増）
養護教員	養護全般	５名程度（昨年度と同数）
栄養教員	栄養全般	３名程度（昨年度と同数）

○ 中学校・高等学校・中等教育学校教員の合格者は、本人の希望や免許状の所有状況を考慮し、中学校、高等学校、中等教育学校の教員として採用します。
○ 特別支援教育担当教員の合格者は、特別支援学校又は特別支援学級等の教員として採用します。
○ 養護教員の合格者は、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員として採用します。
○ 栄養教員の合格者は、小学校、中学校、中等教育学校、特別支援学校の教員として採用します。

令和9年度　さいたま市立小学校１０６校、中学校５９校、高等学校３校、中等教育学校１校、特別支援学校２校

参考　さいたま市ホームページ　令和9年度採用（令和8年度実施）さいたま市立学校教員採用選考試験　より

希望（ゆめ）のまちで夢の花を咲かせよう
～「喜び」「やりがい」とともに～

「さいたま市で先生になりたい！」
皆さんの申込み　お待ちしています



問合せ先
さいたま市立教育研究所 研修係
住所 さいたま市浦和区岸町６－１３－１５
電話 ０４８（８３８）１８１０